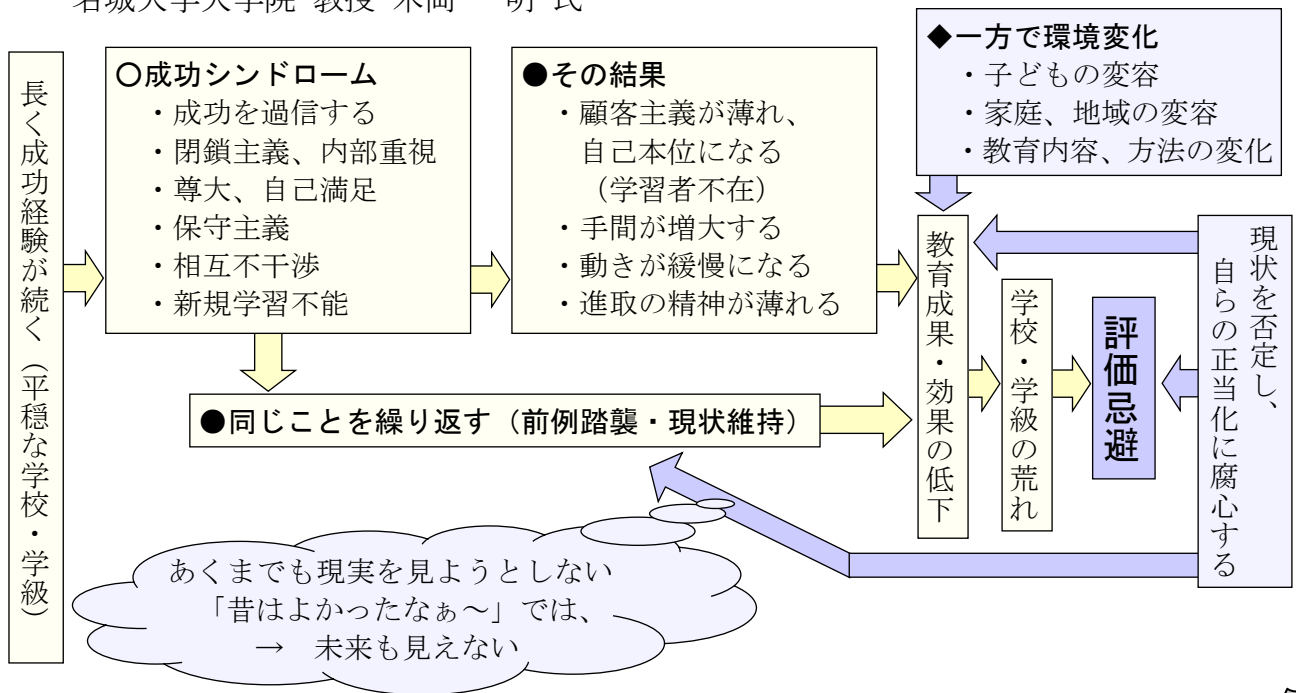


文部科学省「学校評価推進協議会」その1

なぜ学校評価が必要なのか ⇒ 地域が学校を元気にし、元気な学校が地域を活性化する！

Why? なぜ、学校評価は定着してこなかったのか - 学校・教員独特の歴史

名城大学大学院 教授 木岡 一明 氏



学校評価を成功させるポイント ～ 学校評価をみんなのものにするには ～

京都市教育委員会 首席指導主事 北尾 恵丈 氏

ポイント1【よりよい学校づくりと学校評価】

- ① 学校評価をみんなのものにする
 - 一人一人が評価者の視点を持つ。当事者意識を持つ。評価と実践をつなぐ。
 - ⇒ 年間の通した評価活動の実施。日常的な学校教育活動への参画。
- ② **学校の魅力を発見し、発信する**
 - 課題発見・魅力発見型の新しいアンケート手法の活用。
 - ⇒ 学校の魅力が見える評価の工夫。よさの共有、魅力の共有。学校の魅力の積極的な発信。）
- ③ 自らを振り返り、互いに高め合う
 - 学校、保護者、地域、児童生徒、それぞれの立場から自らの役割、関わりを振り返る。
 - ⇒ 足りないところを補い合い、高め合う双方向の関係。

ポイント2【地域ぐるみで進める学校評価】

- ① 地域の子どもは地域で育てる
- ② 目指す子ども像、目指す学校像の共有
- ③ 目標の共有から行動・実践の共有へ
- ④ 評価をつなぐ
 - 地域や子どもの実態を踏まえた共通評価項目の設定

みんなとは、

- ・教職員みんなのものに
- ・子どもたちみんなのものに
- ・保護者みんなのものに
- ・地域住民みんなのものに